

Fuji Champion Race Series Round 5

FCR-F



FCR-F(富士チャンピオンレースフォーミュラ)は、F4のアルミモノコック専用カテゴリーとして発足。今年初レースは、小雨の落ちるウェットコンディションの中、予選トップタイムを出してポールポジションからのスタートとなったのは72 チームNATS・エクシズ006 金井亮忠 2'00.079のタイムだった。フロントローに並ぶのは77 アルボルアルデアCMS006 木村順 2'02.110となった。12台参加、12週の決勝レースは雨の中でのスタートとなり、1周目でSCが入る混戦模様。3周目にSCは入り、再スタートがきられるが上位3台は安定してそのポジションを守っている。その後ろで周回ごとに順位が変わる目まぐるしさ。5周目から8周目にかけて、再度SCが入る。全体的には悪コンディションの中、ペナルティも多く荒れたレースとなったが、ポールから逃げ切った72 金井が優勝、2位に入ったのはオープニングラップで5番よりジャンプアップしてきた31 K's R-MASA006SPM 大竹将光、3位には予選3番手のポジションを守った33 CMS WEST 056 竹上裕樹となった。



RESULT リザルト FCR-F

Rank No.	Name
1	72 金井 亮忠
2	31 大竹 将光
3	33 竹上 裕樹
4	24 八巻 渉
5	22 吉岡 一成
6	21 相馬 智宏

Super FJ/FJ1600

Round 5



今回が全5戦の最終戦となるこのクラス、雨こそ上がったがまだ路面はセミウェット状態の予選でポールポジションを決めたのはポイントリーダーの41 B-MAX・エンドレス10V 今井龍太 2'04.939のタイム、フロントローには88 TeamKRM☆MYST☆関口 Takashiが並ぶ、FJ1600は38 オートルックEVOLEX・KH 原田建が2'13.484でトップ。霧雨の中スタートした決勝は3番手スタートの37 メイクウィナーKwindsED大久保一成が3周目でトップに立ちその後は徐々に後ろとの差を広げてゆく。FJ1600は最後まで38 原田と7 WRS TUKAMOTO SK 塚本崇の激しいトップ争い。12週のウェットレースはS-FJが37 大久保、88 Takashi、35長谷川。FJ1600は38原田、7 塚本、5 宮下の順でチェッカーを受けた。シリーズチャンピオンはS-FJが今井龍太、FJ1600は笹尾徹也に決定した。レース後37大久保は「表彰台が初めてで真ん中に立つことが出来ました!今日はマシンのセッティングがすべて上手く合いました」と話し38原田は「初優勝できました。自作のマシンで出続けて本当に嬉しいです」とコメント。



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	37 大久保 一成
2	88 Takashi
3	35 長谷川 綾哉
4	36 神村 悠太
5	41 今井 龍太
6	34 草野 貴哉



RESULT リザルト FJ1600

Rank No.	Name
1	38 原田 健
2	7 塚本 崇
3	5 宮下 啓

86&BRZ Round 4



今シーズンの最終戦となるこのクラスは4人のドライバーがチャンピオンの切符を握っての参戦、小雨の中ウェット路面での予選でトップタイムを出したのは23 SMC横浜 N-SPEED86 前川佳紀 2'17.207のタイム、フロントローにはポイントリーダーの25 KeePerSAMURAI86 鶴飼龍太が2'21.359で並ぶ。昼過ぎから行われた決勝では雨も上がってきたがまだ路面はウェット。トップの23前川が好スタートを決め、周回ごとに2位以下を引き離しにかかるがその後ろでは25鶴飼と3番手スタートの54 86Racer's 上野嘉三の2位争い、3周目に54 上野が前にでる。10週のレースは2位以下に38秒の大差をつけて逃げ切った23前川が優勝、2位には54 上野、3位に77CLUB PANTERA86 山内正義となった。23前川は「上野君と一緒に練習して教えてもらった。今日はマシンも自分もすべてのことが上手くって勝つことができました」と話していた。シリーズチャンピオンは54上野となった。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	23 前川 佳紀
2	54 上野 嘉三
3	77 山内 正義
4	25 鶴飼 龍太
5	53 勝間田 雅宏
6	47 落合 立成

N1400/N1000/DEMIO(N1) Round 4



毎シーズンかなりの接戦となるこのクラスも今回は最終戦。N1400クラスはチャンピオン候補が3台、N1000クラスは41佐藤が連勝で前回までにチャンピオンの座を押さえている。予選でのトップタイムは92 MAS・IDI・K/FEP82 藤井優2'17.338のタイム、2番手にはポイントリーダーの21スノコμDLマリンAID82 大竹直がつけた。N1000は2 IDIワコーズ西砂ヴィッツ あおきみのるの2'27,954並ぶのは41 マルチクラフト SCP10プラクト 佐藤英二。デミオは103 R.P.M/H。決勝レースではN1400クラスはいつも接戦となるはずなのだが珍しく上位陣の激しいバトルもなく淡々と周回が進んでいく。一方N1000クラスは上位4台の激しいトップ争い。10週のレースをトップでチェッカーを受けたのは92 藤井。そこに21大竹、222小野田と続いた。N1000クラスを制したのはこれで全戦優勝となった41佐藤。続いて2あおき、83松本の順。レース後92藤井は「後半、タイヤがきつかったけれど路面が乾いてきたのでタイムはなんとか出せて運が良かった」41佐藤は「今回は天候のセットで迷いました。メカニックの判断のおかげで勝つことができた」103R.P.M/Hは「N1000クラス後方のトラブルに巻き込まれないようによけて走っていたら遅れてしまった」と話していた。



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	92 藤井 優
2	21 大竹 直
3	222 小野田 篤士
4	3 山田 大輔
5	33 フナキ ヒロシ
6	78 大沢 雄哉



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	41 佐藤 英二
2	2 あおき みのる
3	83 松本 英之
4	30 山口 浩昭
5	49 菅野 良男
6	28 川井 秀晃

NISSAN GT-R Prestige Cup Round 4



全5戦、ここ富士SWで行われるGT-Rも今回が第4戦。最終戦はNISMO FESTIVALで行われる。土曜日の予選でトップタイムを出したのは25 coinparkGT-R 富田竜一郎 1'57.624、続いて20 田中哲也、10 藤井誠暢らがタイムを出す。こちらは賞典外、スターティンググリッドはポールが25 富田、並ぶのは20 田中哲也、3番手グリッドには7 D'station GT-R 星野辰也となった。10藤井は最後尾からのスタート。セミウェット路面での対決になった決勝レースでは、好スタートを決めた25 富田が後ろを押さえて逃げ切り体制に、2番手には20田中、その後ろでは3周目に5番手ポジションスタートの8 SwiftWing GT-R 岸本裕之が3番手に上がってくる、後半も8 岸本と23 SMC横浜 GT-R 前川佳紀の激しい争いが続くが、25 富田、20田中、8 岸本、23 前川、の渾で8週のレースは終了した。

RESULT リザルト GT-R

Rank No.	Name
1	25 富田 竜一郎
2	8 岸本 裕之
3	23 前川 佳紀
4	34 内田 康之
5	21 田部 雄剛
6	7 星野 辰也

Porsche GT3 Cup Challenge Japan 2014 Round 9&10



各地のサーキットを転戦してきたGT3カップは今回の第9・10戦が最終戦。まず予選でトップタイムでポールを取ったのは2'00.521を出したCup I クラス12 雷神997GT3Cup Acura Stanley、OPENクラストップは23 Kremer996GT3RSR 滝澤智幸、Cup IIクラスは68 Kremer997GT3 Cup 宮本正光。第9戦決勝は12 Acura Stanleyが8番グリッドから上がってきた16 SUNRISE GT3 CUP 福田幸平と激しいバトルの末ポールトゥウィンを決めた。OPENクラスは23滝澤、Cup IIは68宮本。第10戦では第9戦でファステストラップを決めた11 KRM SARAYAMA997 フクジロウがポールからのスタート。フロントローには12Acura Stanleyが並ぶ。決勝ではレース中盤までコンマ差のトップ争いが続くが、レース終盤11 フクジロウが2番手と距離を広げ、そこにOPENクラストップの23 滝澤が5番グリッドから徐々に順位を上げ激しい2番手争いを繰り上げた。第10戦をポールトゥウィンで決めたのは11 フクジロウ、OPENクラスは23滝澤、Cup IIは4 DSP GT3 Cup

RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	12 Acura Stanley
2	16 福田 幸平
3	15 神取 彦一郎
4	11 フクジロウ
5	44 GYOUZA ADACHI
6	2 YO-YO

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	68 宮本 正光
2	5 上代 昇

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	23 滝澤 智幸
2	25 キムラ タカノリ
3	20 Hideo AKAGI

RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	11 フクジロウ
2	12 Acura Stanley
3	16 福田 幸平
4	9 小林 賢二
5	15 神取 彦一郎
6	44 GYOUZA ADACHI

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	5 上代 昇

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	23 滝澤 智幸
2	25 キムラ タカノリ
3	20 Hideo AKAGI



Inter Proto Series Round 4 Review

Inter Proto Series
Round 4
Gentleman Driver



最終戦を迎えたインタープロトシリーズ、今回CCS-Rクラスとの混走となっている。まずジェントルマンクラスでは予選トップでレース1のポールポジションを奪取したのは、ポイントリーダーの19 Pasarレーシングカー Yuke Taniguchi 2'03.614のタイム、フロントローには95 リジカラIPS 永井宏明が並ぶ、4番手にCCS-Rのトップ、52 埼玉トヨペットGB CCS-R 平沼貴之となっている。レース1決勝ではトップ2台の激しい戦い、その後ろでは3番手争いが熱い。15週のレース1を制したのは19 Taniguchiだった。「途中でやめたくなくなるくらいの精神力の勝負でした」と話していた。CCS-R初カテゴリー優勝の52 平沼は「レーシングカーとしての安全性もありドライビングが楽しいマシンです」とコメントしていた。翌日のレース2ではポールの19 Taniguchiがまさかの途中リタイア、95 永井が逃げ切ってトップチェッカーを受けた。SSC-Rも52 平沼が燃料系トラブルで出走出来ず、10 NTP RACING CCS-R 伊藤康則が優勝した。

Race1



RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	19 Yuke Taniguchi
2	95 永井 宏明
3	37 畠中 修
4	4 AKIRA
5	3 FLYING RAT
6	16 渡邊 久和
7	36 森川 誠



RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	52 平沼 貴之
2	10 伊藤 康則
3	96 末長 一範

Race2



RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	95 永井 宏明
2	37 畠中 修
3	4 AKIRA
4	3 FLYING RAT
5	16 渡邊 久和
6	36 森川 誠一



RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	10 伊藤 康則
2	96 末長 一範

Inter Proto Series
Round 4
Professional Driver



同じマシンで行われるProクラス、こちらは予選でポールを決めたのはポイントリーダーの4 RSS広島トヨペットIPS 平川亮 2'00.711のタイム、隣には37 Keeper IPS-01 中山雄一が並ぶ。CCS-Rは52 埼玉トヨペットGB CCS-R 番場琢が2'05.376でクラストップからのスタート。レース1・2とも4平川がコンマ差で逃げ切る見ごたえのあるレースとなった。CCS-Rはレース1が10 NTP RACING SSC-R 阪口良平、レース2では52番場が優勝した。レース後4平川は「最終ラップで抜き返せた2レース目は特に嬉しかった！シリーズチャンピオンもとても嬉しいです」と話しCCS-Rの52番場は「乗りやすいしマシンの挙動もわかりやすいしすごく勉強になるカテゴリーだと思っています」と話していた。

Race1



RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	95 佐々木 孝太
4	19 黒澤 琢弥
5	3 山野 直也
6	36 里山 勉
7	16 Ronnie QUINTARELLI

RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	10 阪口 良平
2	52 番場 琢
3	96 ト部 治久

Race2



RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	16 Ronnie QUINTARELLI
4	3 山野 直也
5	95 佐々木 孝太
6	19 黒澤 琢弥
7	36 里山 勉

RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	52 番場 琢
2	10 阪口 良平
3	96 ト部 治久